

みんなで育てよう 社会の宝

～ 児童虐待防止へわたしたちができること～

11月は
児童虐待防止
推進月間
です

子どもの虐待防止推進全国フォーラムinひろしま

平成22年 **11**月**23**日(火・祝) 10:00～17:15

参加のご案内

主催：厚生労働省 共催：広島県、広島市

みんなであそぶ

1 趣 旨

児童虐待に関する相談対応件数は依然として増加しており、特に子どもの生命が奪われるなど重大な事件も後を絶たない状況にあります。児童虐待問題は社会全体で早急に解決すべき重要な課題となっており、虐待の発生予防、早期発見・早期対応から虐待を受けた子どもの自立に至るまでの切れ目のない総合的な支援が必要です。

こうした状況を踏まえ、平成16年度から、児童虐待の防止等に関する法律が施行された11月を「児童虐待防止推進月間」と位置付け、児童虐待問題に対する社会的関心の喚起を図るため、集中的な広報・啓発活動を実施することとしています。

この児童虐待防止推進月間の取り組みの一環として、国民一人ひとりが児童虐待問題についての理解をより一層深め、主体的に関わりをもっていただくための意識啓発を図ることを目的として、全国フォーラムを広島県広島市で開催します。

2 主 催

厚生労働省

5 メイン会場

広島国際会議場

広島市中区中島町 1-5 (平和記念公園内)

3 共 催

広島県、広島市

6 参加定員

1200名程度

【手話通訳有 (基調講演・シンポジウム)】

4 開催日時

平成22年

11月23日(火・祝) 10:00~17:15

7 参加費

無料

社会の宝

～児童虐待防

8

プログラム

9:30～

開場

10:00～10:20

開会式

- ・開会挨拶
- ・平成22年度児童虐待防止推進月間標語最優秀賞（厚生労働大臣賞）の授与
- ・平成22年度要保護児童対策模範事業（児童相談所および市町村関係機関）の表彰

10:30～12:00

基調講演

島田 洋七氏

《島田洋七（しまだ・ようしち）氏プロフィール》

漫才コンビB&Bとして、1980年代の漫才ブームの先駆者となる。

NHK漫才コンテスト、上方漫才大賞、読売テレビ・上方お笑い大賞など数々の賞を受賞し、『もみじまんじゅう』のギャグは一世を風靡する。

また、著書『佐賀のがばいばあちゃん』は、シリーズ670万部を超え、韓国版、台湾版など世界各国に広がりを見せている。映画化、ドラマ化、舞台化などが相次いで実現。いずれも高い観客動員数・視聴率を記録し、「がばい」旋風を巻き起こしている。

現在は、漫才師としての活動の傍ら、講演、執筆活動にも精力的に取り組む。

自分の人生論や経験、おばあちゃんとの生活などを元に語る講演会はこれまで開催4000カ所を超える。漫才さながらの笑いあり涙ありの講演は、お年寄りから子供まで、老若男女が楽しめると好評を博している。

13:00～14:30

シンポジウム

「みんなで育てよう 社会の宝

～児童虐待防止へわたしたちができること～」

コーディネーター

芝野松次郎氏
（関西学院大学人間福祉学部・
研究科教授、学部長・研究科長）

パネリスト

小池 征人氏（映画監督）
丸山 浩一氏（東京都児童相談センター所長）
片山三喜子氏（関西テレビ放送編成制作局宣伝部マネージャー）
新宅 博明氏（安田女子大学大学院兼任講師）

止へわたしたちができること～

15:00～16:30

分科会 (4 分科会構成)

第1 分科会 「妊娠期から乳幼児期の虐待予防と支援」

概要

虐待予防には、育児不安を持つ養育者に対する早い段階での育児支援が必要であり、今後の医療、保健・福祉分野の連携による支援について議論する。

コーディネーター

上野 昌江氏 (大阪府立大学看護学部教授)

事例報告者

山下 洋氏 (九州大学病院子どものこころの診療部特任講師)
田邊 満代氏 (広島県西部東保健所保健課課長補佐兼健康増進係長)
桧山 和子氏 (広島県東広島市福祉部こども家庭課参事兼母子保健係長)

第2 分科会 「児童虐待を防止する要支援世帯への援助」

概要

児童虐待の発生には経済的貧困やひとり親家庭等様々な要因が複合しているケースが多く、このような世帯への援助や関係機関の連携の在り方について議論する。

コーディネーター

山田 修三氏 (広島県東部こども家庭センター所長)

事例報告者

川松 亮氏 (東京都北児童相談所児童福祉司)
井上賢一郎氏 (社会福祉法人池田町社会福祉協議会事務局次長兼総務企画係長)
池谷 秀登氏 (東京都板橋区板橋福祉事務所査察指導員)

第3 分科会 「育てにくさを感じる親への支援～子どもに合った育て方をみつけるために～」

概要

こどもの特徴に合った対応方法を見つける支援が、保護者の負担を軽減し虐待予防につながることについての実践報告と、さらなる可能性について議論する。

コーディネーター

松田 文雄氏 (医療法人翠星会松田病院理事長・院長)

事例報告者

宮田 広善氏 (姫路市総合福祉通園センター所長)
土田 玲子氏 (県立広島大学保健福祉学部作業療法学科教授)
中山 政弘氏 (独立行政法人国立病院機構肥前精神医療センター心理療法士)

第4 分科会 「子どもと子どもの環境を考える。～子育てをもっと楽しもう～」

概要

児童虐待を予防するためには、子育てに対する親の負担感を軽減することや、親が子育てを楽しめることが大切であり、実践報告と今後の展開について議論する。

コーディネーター

渡部 朋子氏 (特定非営利活動法人ANT-Hiroshima代表理事)

事例報告者

藤井 紀子氏 (社会福祉法人慈光会特別養護老人ホーム慈光園統括園長)
金子百合子氏 (社会福祉法人しらとり会地域生活支援センターまほろば管理者)
高田 憲治氏 (広島女学院ゲーンズ幼稚園主事)

16:45～17:10

全体会

分科会ごとに内容を報告していただき、全体のまとめを行います。

17:10～17:15

閉会式

※ 会場で民間団体等の児童虐待防止に向けた取り組みをパネルなどで展示します

9

お申し込み方法

(下記の方法でお申し込みください)

- 1 参加申込書に必要事項を記入のうえ、「子どもの虐待防止推進全国フォーラムinひろしま」事務局に**郵送**または**FAX**で送付する。
(*参加申込書は厚生労働省・広島県・広島市ホームページからもダウンロードできます)
- 2 広島市ホームページから電子申請フォームにより申し込む。

<http://www.city.hiroshima.lg.jp>

11

お申し込み締切

平成22年**10月29日(金)** 当日消印有効
 (締切日以降は、「子どもの虐待防止推進全国フォーラムinひろしま」事務局に、電話にてお問い合わせください)

12

参加証の送付

ご本人様宛に参加証(はがき)を送付いたします。**当日は、この参加証を持参してお越しください。**(会場の都合上、分科会を調整させていただく場合があります)
 なお、11月15日(月)までに参加証が届かない場合には、事務局までお問い合わせください。

13

託児のお申し込み

1歳から就学前までのお子さまをお預かりします(定員20名、先着順)。託児のご希望がある場合には、必ず事前に参加申込書に必要事項をご記入のうえ、お申し込みください。
 ※保険証、着替え、おむつ等必要なものは、各自ご持参ください。

10

参加申込書送付先 郵送・FAX

「子どもの虐待防止推進全国フォーラムinひろしま」事務局

郵送先 〒730-8586
 広島市中区国泰寺町一丁目6番34号
 広島市子ども未来局子ども・家庭支援課 全国フォーラム申込担当

FAX 082-504-2727

14

メイン会場へのアクセス

アクセスマップ



広島国際会議場

〒730-0811 広島市中区中島町1-5(平和記念公園内)
 TEL **082-242-7777**

JR 広島駅から

●路線バス…約20分

南口バスのりばA-3ホームより、広島バス24号線吉島営業所または吉島病院行「平和記念公園」下車すぐ

●市内電車…約25分

- ・広島港①行「袋町」下車、徒歩約10分
- ・西広島②、江波⑥、宮島行「原爆ドーム前」下車、徒歩約10分

●タクシー…約15分

広島空港から

●リムジンバス…約70分

空港ターミナルビル1階到着フロア1番ホームより、広島バスセンター行終点下車、徒歩約10分

●タクシー…約50分

※お車でお越しの場合、駐車場には限りがございます。出来るだけ公共交通機関をご利用ください。

15

本フォーラムに関するお問い合わせ先

- 厚生労働省雇用均等・児童家庭局総務課虐待防止対策室……電話 **03-5253-1111** (内線 7799、7800)
- 広島県健康福祉局総務管理部子ども家庭課……………電話 **082-513-3167**
- 広島市子ども未来局子ども・家庭支援課……………電話 **082-504-2161**